令和6年（2024年）8月　発行

広報
わたむき
発行
印刷
第 53 号
綿向生産森林組合
日野町大字村井1352

第７７回 通常総代会開催

６月22日（土）午後１時30分より 第77回通常総代会 を日野町林業センターで開催し、出席者 ７２名・議決書 ６７名 計 139名 の総代の皆さまにご出席を頂きました。

嶋村組合長開会挨拶

御挨拶

組合長理事 嶋村 寿雄

皆さんこんにちは。

※出席総代・ご来賓に日頃の御礼を述べる。

皆様ご存じのように綿向生産森林組合は今年の3月、設立60周年還暦を迎えました。そこで、開会ご挨拶の場をお借りしまして、60年の歩みと現状に少し触れさせていただきたいと思います。

設立は昭和39年。最初の東京オリンピックが開催された年です。3つの財産区が合併し、組合員2100名余りで誕生しました。ちなみに今は、1400名余りになっております。綿向山をはじめ、シャクナゲ渓も組合の所有林です。また、土山の大河原ダム沿い、三重県関市にも組合所有林があり、所有林の総面積は1200ha弱です。

表彰関係では平成7年に農林水産大臣賞、平成12年には内閣総理大臣賞を受賞しています。これは長年の育林活動が認められたものです。

経営面では、近江ヒルズゴルフ倶楽部さんと借地の契約を、また、中部電力さんと送電線の保証で契約を結んでいます。

対外面では、琵琶湖森林づくりパートナー協定があります。平成22年からサントリーホールディングスさんと協定を結んでいます。場所は蔵王ダムの南側で、サントリーさんでは「天然水の森近江」と位置づけされています。同じ年、積水樹脂さんと協定を結びましたが今は終了しています。

令和4年からは、東洋アルミグループさんと協定を結んでいます。場所は鎌掛のシャクナゲ渓です。

また、森林の役割が変わってきてますが、それに合わせましてSGECの森林管理認証を取得しています。

また近年、地球の温暖化でカーボンニュートラルやカーボンオフセットの話が出てきていますが、国は対応策の一つとしてJクレジット制度を進めています。

組合は吸収部門の認証を取得しています。これと合わせまして、滋賀県が推進されている琵琶湖カーボンクレジットにも登録しています。

山の施業では、今年4月から組合の中心であります綿向山で作業用の道付けや間伐の作業をはじめました。近年夏冬を問わず多くの登山者が訪れる中ではありますが、日野町商工観光課さんにご尽力をいただき、入山禁止にして作業をしています。

先ほど述べました還暦を迎えた組合、設立時の組合員さんから2世3世の世代に代わってきています。世の中の状況も随分変わりました。

また、組合の元をなす森林の果たす役割もそうです。木材を生産する場から水源涵養や二酸化炭素吸収など、多面的機能が言われてきています。

森林に求められている役割の変化や、組合のおかれている状況の変化を見ますと、今、綿向生産森林組合は新しい先へと変化していくべきターニングポイントに差し掛かっているように思われます。

この先70年100年のためにも組合のあらゆる面で見直しを行い変えていく時期に来ていると思われます。綿向生産森林組合の積み上げられてきた実績や知名度とともに緑豊かな山々を健全な形で次世代につなげ、変わりゆく状況に遅れることなく対応し、価値ある組合を作っていくため、組合員の皆様をはじめ総代の皆様には今後とも変わりませずご支援ご協力賜りますようお願いいたします。

長くなりましたが、通常総代会開催にあたりましてのご挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございます。

※議事録より抜粋

第22期役員ご挨拶

各地区総代代表様により推薦会議が行われ、ご選出頂いた役員候補者の方々が、今回の総代会において信任されました。
早速、総代会終了後には組合会議室において第１回理事会を開催し、組合長・副組合長の選出、理事・監事の席順を決定して頂きました。

組合長理事　山田　彰一

日野区より理事の推薦を頂き、理事会におきまして組合長の大任を拝することとなりました。
微力ではありますが、将来を見据えた森林経営に貢献する所存です。
とはいえ、林業を取り巻く環境は依然として厳しいものがあります。本年度より「森林環境税」が施行され、「森林環境譲与税」が森林整備及び促進等に活用されますことを期待し、循環型林業による森林の世代交代や保全、地球温暖化防止への取り組み、企業との交流を計り、組合の価値向上に繋げてまいりたいと思います。
皆様、ご指導、ご協力頂きますよう宜しくお願い致します。

副組合長理事　岡　　友治

鎌掛地区より推薦を頂きまして理事会では、副組合長の重責をお受けする事になりました。
綿向山をより近くで見るこ事となり、他の理事さんと共に、組合長を支えて、より良い森林組合になるよう努力致したく思います。
林業を取り巻く環境は、年々厳しくなっていますが、治水や温暖化対策等で社会に貢献出来る事も数多く有り、その事を生かしつつ次世代に引き継げるように、組合員皆様のお知恵を頂きながら、3年間勤めたいと思います。
ご指導の程、
宜しくお願い申し上げます。

理事　大杉　惠一

この度、日野区よりご推薦を賜り理事を務めさせて頂くこととなりました。
林業への知識はほとんどなく、今回の職責には不安ばかりであります。
しかしながら受けました以上、当組合の森林財産を守るとともに、自然豊かな環境も保持し、未来につなぐ森林組合運営に尽力したいと思います。
組合員の皆様にはあたたかいご指導ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

理事　齋藤　良彦

日野地区から推薦を頂き、理事という大任を務めさせていただくことになりました。
林業経営について何の知識も経験も無い私ですが、精一杯勉強させていただきながら諸先輩方が今日まで色々な苦難を乗り越え、守り育ててこられた伝統ある綿向生産森林組合をより良い経営状態で子々孫々に繋げられる一助になれるよう精進致します。皆様のご指導ご協力宜しくお願い申し上げます。

理事　沢　　文男

この度、日野区より推薦を頂き、理事として3年間重責を務めさせて頂くことになりました。何分初めてのことで生産森林組合の状況など全くわかりませんが、諸先輩に教わりながら微力ではありますが、任期を務めたいと思っています。
今後共、ご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

理事　門　　庄助

西大路区より推薦を頂き、この度理事を務めさせて頂く事となりました。
私の両親は、当組合の作業員として従事し「今日はオオヤマや、明日はカブトや･･･」等と話しているのをよく耳にしました。今はあの頃のような活気はありませんが、森林環境税も本格的に始動し、「森林の持つ重要性に関心が高まるのでは？」と期待しています。林業経営は成果を得るのに長くの年月を有し、先の読みづらい事業でありますが、当組合の財産を守り、さらなる発展に繋がるよう努力してまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

理事　平岡 喜志夫

この度、西大路地区より推薦頂き理事を務めさせて頂く事になりました。
初めての理事と言う大役を引受けるに当たり、忠実に職務出来るか不安も有りますが、歴史有る綿向生産森林組合を次世代へ引継ぐ事が責務と思い、精一杯、務めさせて頂きます。
皆様のご指導ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

代表監事　山本　喜一

この度、西大路地区より推薦を頂き、監事として2期目を務めさせて頂く事となりました。組合員皆様方の、ご支援ご理解を頂きながら公正、適正な監査を進めて参ります。
また、組合経営も益々大変な時代になりつつありますが、綿向の山々が今後も、緑豊かに存続されます様、役員として務めてまいります。

監事　中野　秀美

この度、鎌掛区から推薦を頂き、監事の重責を務めさせて頂くこととなりました。
何分、若輩者で大変不安ではありますが、精一杯、力が出せるよう励んでまいります。
昨今、森林経営は厳しい状況にあると聞きますが、先人達が守り築いて来た山を、後世に引き継げるように頑張ります。
どうか皆様、ご指導ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。

理事　池田　　香

このたび西大路区から推薦を頂き、第77回通常総代会の決議によって、歴史と伝統ある綿向生産森林組合の理事を務めさせて頂くことになりました。その重責に身が引き締まる思いです。
もとより微力ではありますが、組合組織における理事としての忠実義務（本組合のため忠実に職務を遂行すること）を肝に銘じ、健全な組合運営によって本組合を維持、発展させるべく精進して参る所存ですので、皆さま方には何卒よろしくご協力とご指導の程お願い申し上げます。

監事　山田　人志

日野区からのご推薦により、今期の監事を務めさせていただくことになりました。
森林環境譲与税の導入等によって全国的に森林経営のあり方について議論が活発化しているなかで、綿向生産森林組合では、組合林経営の特性に応じて将来の経営の道筋がどのように描かれているのかなど、大所高所から当組合の業務と財務を見せていただくつもりです。よろしくお願い申し上げます。

令和9年6月の総代会までの3年間、宜しくお願い致します。

地区別総代会議を開催

第２２期役員就任により、３地区での総代会議を開催致しました。
会議の主たる内容は、新役員による総代皆さまへのご挨拶と、また組合での近況報告を行いました。

日野区総代会議
7月30日（火）19:30開会
林業センター

出席総代様 ４１ 名

西大路区総代会議
7月31日（水）19:30時開会
西大路公民館

出席総代様 ２４ 名

鎌掛区総代会議
8月1日（木）19:30開会
鎌掛公民館

出席総代様 １１ 名

組合の動き

綿向山登山道周辺にて森林整備開始

令和６年４月１日～
北畑
綿向山登山口から５合目へ向けて、森林整備を開始しました。現在、木材搬出のための森林作業道を開設しています。

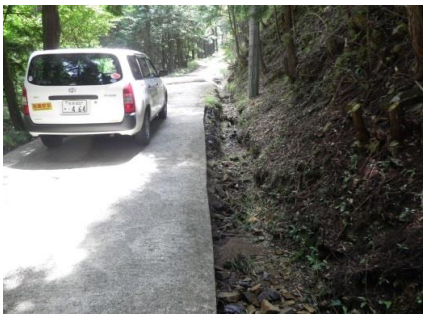
嶽まつり（大嵩神社御祭礼）

令和６年４月２０日（土）
佐久奈度神社
大嵩神社（綿向山山頂）
恒例の「嶽まつり」が古式に則り行なわれ、日野まつり関係者が登山されました。

東洋アルミグループ森林保全活動

令和６年５月２９日（土）
蔵王（勝手谷）
東洋アルミグループ８名様に、防護ネットの修繕作業を行っていただきました。前日、翌日とかなりの雨が降りましたが、この日は見事に晴れました。

令和5年台風7号　災害復旧工事



令和６年７月～９月
平子（小越林道）
令和５年の台風７号により被災した小越林道の復旧工事が開始されました。

松茸山（菌山）預け札入札会

今年も「預け札」のみで行います。
お一人様、何口でも入札していただけます。
最低入札価格は、２,２００円(税込)です。

「預け札」受付期間
令和６年９月２日(月)
～　９月１０日(火)
午前８時３０～午後５時
綿向生産森林組合　事務所
（土・日は休みです）
開札：令和６年９月１１日（水）午前９時